

市之川公民館だより

平成 31 年 3 月号

(No.543)

発行：市之川公民館

西条市市之川 6678-1

Tel&Fax： 56-3300

3 月 弥生(やよい)

徐々に暖かくなってまいりました。2月19日(火)には春一番も吹きました。皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと存じます。

とは言いましても、朝夕は冷え込みます。皆様には風邪などひかれぬように十分に気をつけて、暖かくしてお元気にお過ごしください。

《3月行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
9	土	カラオケ会 10:00～ 集会室
21	木	祝 春分の日
23	土	カラオケ会 10:00～ 集会室

※ 西条高校商業科課題研究発表会

2月14日、西条総合文化会館でありました。

輝安鉱班のみなさんが、「輝安KOU房活動中」～市之川産輝安鉱の新しい価値の創造～と題して素晴らしい発表をしました。



※ 道路の補修

1月30日(水)、道路の穴が8か所補修されました。



※ 愛媛新聞の記事

研究の成果を報告する西条高商業科の3年生



◆西条高商業科が研究発表会◆西条 地域資源を生かした商品開発に取り組んでいる西条高校商業科の研究発表会が13日、西条市神拝の市総合文化会館であり、3年生38人が「絹かわなす」や結晶鉱石「輝安鉱」のPR策などを1～2年生約80人に説明した。

発表会は1年間の学習の成果を披露し、後輩に研究を引き継ぐために毎年開いている。

絹かわなすについて調査したグループは、生産者が12人と少なく、生産量が需要に追いついていない点を指摘。消費拡大だけでなく生産者を増やす努力が必要として、知名度アップに向け会員制交流サイトへの投稿に取り組んだことを報告した。

かつて市内にあった市之川鉱山（1957年閉山）で採れた輝安鉱の知名度向上に取り組んだグループは、県外のアイデアコンテストで上位入賞したことについて「輝安鉱だけでなく西条の魅力を発信できた」と振り返った。佐伯風花さん（18）は「始めるまで市之川のことを知らなかったけど、後世に伝えるべきものだと感じた」と話した。（岩田太）

私たちには 生きる意味があるのよ

昨年の9月に、樹木希林さんが亡くなったとき、最後の主演作「あん」を再度見たのがきっかけです。どら焼き屋で働く高齢のハンセン病療養所入所者を樹木さんが演じています。「どんな風に吹かれて小豆がここまでやってきたのか、旅の話聞いてあげるの」。主人公の徳江さんは、小豆の言葉に耳を澄ましながら、愛おしそうにあんを炊いていきます。あんのおいしさが評判となり、店は繁盛します。

しかし、世間の無理解に押しつぶされて店を去っていった徳江さん。

どら焼き屋の店長さんと常連客の中学生の女の子は、徳江さんに会いに療養所へ向かいます。バスに揺られて二人が到着した場所は、深い緑に覆われた静かなところでした。二人の訪問を喜びながらも、語ってくれる思い出話は、哀しいものでした。「入所するとき、母が徹夜で縫ってくれた服。初めて着る新しい服を到着したその日にすべて燃やされてしまったの」。

二度目に訪問した時には、徳江さんはもういませんでした。三日前に肺炎で亡くなっていたのです。呆然とする二人にポータブルプレイヤーが差し出されました。そこから聞こえるのは、「せっかく授かった子どもを墮ろさなくてはいけなかったこと。もしも生きていたら、店長さんと似た年頃だった。」という、徳江さんの言葉でした。

私たちに、人間としてよりよく生きる意味を伝えてくださっている本田久夫さんや磯野常二さんの姿とも重なって、涙を流しながら何度も見てしまう映画です。甘く優しい空気に包まれながら、生きていくことの強さを感じます。声高に「感動するでしょう」と押し付けてくるような作品ではないのに、穏やかな流れの中で、自然とハンセン病のことや差別、そして、日本人の持つ優しさと強さと残酷さについて考えてしまう映画です。

「私たちは、この世を見るために、聞くために、生まれてきた。だとすれば、何かになれなくても、私たちには、生きる意味があるのよ」。今でも、樹木さんのセリフが、心の中を吹きわたっています。

西条市教育委員会 西条市人権教育協議会

文芸欄

○ 一雨ごと 木の芽ふくらみ 山笑う
 ○ 手土産の 紅葉まんじゅう 血糖値
 ○ 暖冬で 大豊作の きのかな
 ○ 美々な味 山ゆり食べて 恵方かな
 ○ 暖かく 風に舞い飛ぶ 黄色花
 ○ 梅も咲き 八堂山は 今盛ん
 ○ 椿咲き 蜜を欲しさに 小鳥かな
 ○ 細道に 帰る家なし 宿さがし
 ○ 春來たる 落ち葉の陰に 蠢きて
 ○ 猪の 後追い走る 市之川
 正正正正正
 知知知
 館館館
 長長長

